

事務事業名		つばきまつり運営事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																									
政策体系	政策名	0:5: 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間	予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 01 07 01																								
	施策名	2:3: 豊かな地域資源を活用した観光の振興																												
	基本事業名	0:1: 観光客の誘致と観光宣伝の充実																												
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 18 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																									
所属	部課名	農林水産部 農林課																												
	係名	農政係	電話内線	27-3111 344																										
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・気仙フラワーランド構想に基づく花きの生産拡大・産地化の核施設として位置付けられている「世界の椿館・基石」の有効活用を図るため、「つばきまつり」を開催している。 ・市民及び来訪者に対して「市の花一つばき」「椿の里 大船渡」のPRを行うとともに、花きの生産振興と消費拡大を図り、地域の活性化に資することを目的としている。 ・平成18年度より、つばきまつりの運営業務を「つばきまつり実行委員会」に委託している。実行委員会は市農林課が事務局となっている。 ・実行委員会の業務は、①企画、②実行委員会の開催、③ポスター等印刷物の作成・配布、④構成団体への連絡や調整、⑤会場設営等準備、⑥まつりの運営、⑦実行委員会の開催、⑧会計、支払、⑨報告書の作成。 ・市の事務は、①実行委員会との委託契約、②支払、③完了検査。 ・事業費は、実行委員会への委託料として支出される。																														
全体計画 (※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源			事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																												
		都道府県支出金																												
		地方債																												
		その他																												
		一般財源																												
	事業費計 (A)	0																												
人件費	正規職員従事人数																													
	延べ業務時間																													
	人件費計 (B)	0																												
トータルコスト(A)+(B)		0																												

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段 (主な活動)	⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績 (前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 実行委員会開催数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 実行委員会開催数	回	イ		ウ	
名称	単位								
ア 実行委員会開催数	回								
イ									
ウ									
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)									
前年度に同じ									
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)								
つばきまつり実行委員会	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 実行委員会構成団体数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 実行委員会構成団体数	団体	キ		ク	
名称	単位								
カ 実行委員会構成団体数	団体								
キ									
ク									
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)								
実行委員会が円滑に運営される。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ イベント開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>シ つばきまつり開催日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ イベント開催回数	回	シ つばきまつり開催日数	日	ス	
名称	単位								
サ イベント開催回数	回								
シ つばきまつり開催日数	日								
ス									
④ 結果 (基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
大船渡市を訪れてもらう。									

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	単位						
		千円						
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円		1,000	750	750	750	629
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		1,000	750	750	750	824
	事業費計 (A)	千円	0	2,000	1,500	1,500	1,500	1,453
人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間		480	480	480	400	400
	人件費計 (B)	千円	0	1,920	1,920	1,920	1,600	1,600
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	3,920	3,420	3,420	3,100	3,053
⑤活動指標	ア	回		2	2	2	2	2
	イ							
	ウ							
⑥対象指標	カ	団体	-	9	9	9	9	9
	キ							
	ク							
⑦成果指標	サ	回		16	19	17	25	23
	シ	日		64	63	64	65	48
	ス							

事務事業ID	0511	事務事業名	つばきまつり運営事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

当市は、「椿の里」として、椿をキャッチフレーズとした街づくりを進めており、この街づくり構想との整合を図るため、平成9年に椿を中心に花を題材とした交流施設である「世界の椿館・基石」が開館し、その有効利用を図るため「つばきまつり」が開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

- ・仙台でのPR効果により、宮城県からの来場者数が増加傾向にある。
- ・まだ「世界の椿館・基石」(つばきまつり)に来館したことがない市民が多数見受けられる。
- ・まつり関係者相互の連携が図られてきている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

毎年、つばきまつりを楽しみに大船渡を訪れているので、これからも継続してほしいという要望が来場者から寄せられている。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 つばきまつりにより「世界の椿館・基石」の来場者が増えることにより、観光客に対して椿の里としての認知度を高めることができ、産業の振興につながる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

事務事業ID	0511	事務事業名	つばきまつり運営事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括 (振り返り、反省点) PRを強化することにより、さらなる集客が見込まれる。 また、世界の椿館・基石の運営をしている総合交流ターミナル施設運営事業と統合することにより、「世界の椿館・基石」と一体的に調整することが可能となり、さらなる成果の向上の可能性がある。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性 (改革改善案) ……複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☒ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 催事内容の充実及びPRを強化することにより、さらなる集客が見込まれる。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 総合交流ターミナル施設運営事業により、「世界の椿館・基石」の管理・運営は、指定管理者：大船渡市農業協同組合に委託されているが、つばきまつり運営事業を行うことができる人員体制が整っていない。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者

農林課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

①記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☒ 一部記述不足のところがある
☐ 記述は十分なされている

②評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている (事務事業の問題点、課題が認識されていない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている (事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- | | | |
|---------|--|---|
| ① 目的妥当性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ② 有効性 | ☐ 適切 | ☒ 見直し余地あり |
| ③ 効率性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ④ 公平性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |

(3) 評価結果の根拠と理由

・まつりは、PRや内容の工夫・見直しが必要である。
・市農協との協議次第では、当該事業と総合交流ターミナル施設運営事業と統合することで人件費の削減は可能であるが、委託料が増えることが予想される。

(4) 次年度の方向性 (改革改善案) ……複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

まつり来場者へのアンケート調査等を行い、PRや内容の見直し・工夫の検討を行う。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		●	○
	維持			×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項